

令和7年度学校給食計画

1 児童生徒及び教職員数

学校区分	項目 給食形態	給食供給数（人）		
		児童生徒数	教職員数	計
小学校	完全給食	3, 9 2 1	3 1 3	4, 2 3 4
中学校	完全給食	2, 0 6 3	1 6 0	2, 2 2 3
計		5, 9 8 4	4 7 3	6, 4 5 7

※完全給食：主食、おかず、牛乳がそろった給食

2 学校給食実施回数

学校区分	1 学期		2 学期		3 学期		給食 回数
	開始	終了	開始	終了	開始	終了	
小学校	4月11日(金)	7月16日(水)	9月2日(火)	12月19日(金)	1月9日(金)	3月18日(水)	185回
中学校	4月11日(金)	7月16日(水)	9月2日(火)	12月19日(金)	1月9日(金)	3月18日(水)	185回

- 始業式予定 1 学期：4/8(火) 2 学期：8/29(金) 3 学期：1/7(水)
- 終業式（修了式）予定 1 学期：7/18(金) 2 学期：12/24(水) 3 学期：3/24(火)
- 卒業式予定 中学校：3/13(金)

※小学校1年生 補食給食期間 4/11(金)、4/14(月) 合計2回

3 主食の供給割合

主食区分		曜 日
ご飯	週4回	月・水・金（パン、麺のない火・木）
パン	週0～1回	火（隔週）
麺	週0～1回	木（隔週）

4 食育への取り組み

(1) 栄養職員による食育指導計画(各クラス年1回実施予定)

対象	教科	指導内容	指導形態	実施時期等
小学校 1年生	学級活動	「給食はどうやってできるの」 給食ができるまでを給食センターの様子から知る。	ティームティー チング	
2年生	学級活動	「なんでも食べて元気なからだ」 食べ物の働きと、なんでも食べることの大切さを知る。	ティームティー チング	
3年生	学級活動	「朝ごはんについて」 朝食の必要性を理解し、朝食に必要なことを考える。	ティームティー チング	
4年生	保健体育 または 学級活動	「からだをよりよく成長させよう」 からだをよりよく発育させるための食事、運動、休養、 睡眠のあり方を理解する。	ティームティー チング	保健の「よ りよい発 育」に合わ せる
5年生	家庭科 または 学級活動	「五大栄養素を知ろう」 五大栄養素の働きと食品のグループについて理解し、食 品を組み合わせて食べようとする態度を育てる。	ティームティー チング	五大栄養素 を履修後
6年生	家庭科 または 学級活動	「工夫しよう、楽しい食事」 食品の栄養的なバランスや組み合わせを考え、1食分の 食事の計画を立てる。	ティームティー チング	
中学校 1年生	給食指導	「牛乳を飲もう」 成長期のカルシウムの必要性を理解し、カルシウムをよ り定着させるポイントを知る。	栄養士による 指導	6月前後
2年生	給食指導	「バランスよく食べよう」 6つの食品群の食べ物や働きを確認し、バランスよく食 べる必要性を知る。	栄養士による 指導	6つの食品 群を履修後
3年生	給食指導	「夜食について」 受験に向けて、夜食の必要性の有無や食べ方、内容を知 る。	栄養士による 指導	1～2学期 前半

※ティームティーチング：学級担任と栄養士が共同で行う授業形態

※市内統一の指導内容により、児童生徒に平等な食育を行っていく。

(2) 児童・生徒の実態把握

①給食アンケートを実施

クロームブックを活用し、全児童生徒を対象に給食アンケートを行う。嗜好や量、満足度などの実態を把握し、次年度以降の給食計画の参考にする。

②思い出給食アンケートを実施

小学6年生および中学3年生を対象にもう一度食べたい思い出の給食のアンケートを実施し3月の献立に反映させる。

(3) 給食時間における食育活動

放送用資料（給食通信）を各学校へ配布し、食材の知識や郷土料理、行事食などの情報提供を行う。

(4) 「なまずの日献立」の提供

7月2日の「なまずの日」に合わせて、伝統的な食文化への理解を深めることや、郷土を大切にすることを育むことなどを目的に「なまずの日献立」を提供する。また、学校以外においても「食」を通じて「なまず」に親しんでもらうための取り組みを発信していく。

(5) 地産地消の推進

市内生産者や農政課担当者等と連携し、引き続き地産地消や吉川産農産物を使った給食用加工品の開発を進めていく。

(6) 生産者と児童生徒の交流

市内生産者に協力いただき、種まきや収穫等の体験活動を実施することにより、児童生徒と生産者との交流を図っていく。

(7) 家庭への食育の推進

毎月発行（8月除く）している献立表や給食だよりをとおして、家庭においても食育に取り組めるように働きかける。